

アジア政経学会 2012年度第3回理事会 議事録

1. 日時 2012年7月14日(土) 15:00~17:30
2. 会場 慶應義塾大学(三田キャンパス) 南館4階会議室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 19名(大橋、梶谷、金子、小嶋、駒形、巖、澤田、園田、高橋、高原、滝口、竹中、田村、唐、永井、平岩、丸川、三重野、山本)
5. 委任状提出 5名(佐藤、清水、谷垣、松田、渡邊)
6. 出席者合計 24名
7. 議長 金子理事長
8. 議事

(ア) 定刻15時に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が24名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2012年5月19日)理事会議事録の確認を行った。

議案1. 公益法人移行について

高橋理事より、電子申請のための準備がほぼ整ったこと、および申請の具体的内容について報告されるとともに、微調整の必要が生じた場合は理事長・高橋理事・山本理事(総務担当)・澤田理事(財務担当)で検討し、8月中に申請を完了する予定であることが説明された。

続いて澤田理事より、2011年度収支決算報告書および2012年度予算書に関する補足説明がなされ、修正は不要であることが確認された。

また、金子理事長より、法人移行後の新執行部を適時に機能させるため、2013年度より3つの大会の開催時期を変更し、総会を含む全国大会を春に、東・西日本大会を秋に開催することが提案された。これを受け、山本理事より、他の学会の大会開催日との重複を避けるための日程調整について、情報提供の協力が要請された。また、秋の研究大会での調整は極めて困難になる現実が報告された。

以上の説明と提案および要請は、いずれも審議の結果、了承された。

議案2. 東・西日本大会について

丸川理事より、5月19日(土)に大東文化大学において開催された東日本大会について、梶谷理事より、6月9日(土)に広島市立大学において開催された

西日本大会について報告と説明がなされ、いずれも予想を上回る参加者を得て盛況にて終会したことが確認された。

### 議案3. 全国大会について

丸川理事より、共通論題・分科会・自由分科会・自由論題・国際シンポジウムの趣旨、報告応募者の概要について説明され、全体的なプログラムおよび自由分科会・自由論題の司会者・討論者等については、引き続き検討することが確認された。

続いて平岩先生より、会場となる教室の確保は可能な状況にあり、準備に問題ないことが報告された。

以上の説明と報告は、いずれも審議の結果、了承された。

### 議案4. 全国大会時の国際シンポジウムについて

担当の谷垣・清水両理事欠席のため、山本理事が谷垣理事からのメール内容を代読するかたちで報告された。続いて丸川理事より、現時点で予定されている報告者について説明された。なお、開催費用の確保方法等については、次回理事会において谷垣・清水両理事に確認することになった。

### 議案5. 『アジア研究』の編集状況について

園田理事より、編集の進捗状況として、第57巻第4号が刊行済みであること、第58巻第1・2号(合併号)はある程度まとまっているものの入稿にはまだ時間を要することが報告され、いずれも審議の結果、了承された。

### 議案6. ニュースレターの編集状況について

小嶋理事より、No. 38の具体的内容について説明され、7月末から8月初旬に入稿、9月初旬に発刊を予定している旨が報告された。また、発行部数を100部削減して1300部とし、会員限定の配布に止めること、残部については小嶋理事の研究室にて保管することが報告された。以上の説明と報告は、いずれも審議の結果、了承された。

### 議案7. ホームページの更新について

田村理事より、英語版ホームページの内容の検討、および請負業者の選定を進めている旨が報告された。また、金子理事長より、今期の事業計画に基づきホームページの根本的な改訂を進めることを中長期的な目標として設定する旨が説明された。以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案 8. ドイツ・アジア研究学会との交流について

竹中副理事長（当日不都合が生じたため、資料を持参・提示後に退席）に代わって金子理事長より、7月7日（土）に開催されたドイツ・アジア学会との国際ワークショップ“A Quest for Asian Studies of the 21<sup>st</sup> century”、ならびに7月8日（日）に開催された国際シンポジウム“China’s Role in Asia”について、多数の当会理事の参加・協力、および多くの会員と一般聴衆の参加のもとで活発な議論が交わされ、盛況のうちに終会した旨が報告された。また、必要経費は予算として計上された40万円から拠出することが確認された。

議案 9. 定例研究会について

丸川理事より、7月14日（土）の定例研究会が中止された事由、および12月1日（土）の定例研究会には変更なく開催予定となっており、引き続き報告を公募する旨が説明され、いずれも審議の結果、承認された。

議案 10. 公開シンポジウムへの後援について

園田理事より、9月29日（土）開催予定の公開シンポジウム「高齢社会論の最前線」の趣旨と具体的内容について説明され、昨年に引き続き本学会が後援することが了承された。

議案 11. 入・退会について

山本理事より、入会申請者8名、復会申請者1名、再入会申請者なし、退会者2名、逝去なし、休会者2名、会費優待申請1件の報告が行われた。

<入会者> 工藤文、井岡博、Kainei A. T. MORI（モリ カイネイ）、田辺明生、小杉泰、山根聡、八塚正晃、金仁仙

<復会者> 武玉江

<再入会者> なし

<退会者> 三好章、原不二夫

<逝去> なし

<休会者> 太田浩、竹内孝之

また、入会申請時に紹介者（2名）無しというケースが増加傾向にあることから、新入会員の要件と入会審査のあり方について見直しが行われ、入会希望者自ら紹介者を見つける努力をする旨の理事会の意思が確認された。

その他.

（株）東京商工リサーチからの「TSR 企業情報調査票」について、総務担当・財務担当にて記入事項を確認し、送付することが了承された。

次回理事会は、9月1日(土) 15時から慶應義塾大学(三田キャンパス) 大学院棟8階 東アジア研究所共同研究室1にて開催予定。

以上

金子理事長が17時30分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の議決を明確にするために、議長および議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成24年7月14日

特例財団法人アジア政経学会

議長

金子芳樹



議事録署名人

高橋伸夫



議事録署名人

山本信人

